

(別紙) 吟剣詩舞とは

吟剣詩舞（ぎんけんしぶ）は、漢詩や和歌を歌う「吟詠（ぎんえい）」と、吟詠に合わせて舞う「剣詩舞（けんしぶ）」を総称した日本の伝統的な芸道です。全国に多くの愛好家がいる吟詠と剣詩舞に分かれます。

吟詠とは



吟詠は詩吟（しぎん）とも呼ばれる、日本人の心を歌う伝統芸道であり、詩に節をつけて歌う邦楽のひとつです。コンクールでは漢詩と和歌の詩が用いられますが、そのほかにも俳句、新体詩、現代詩など、どのような詩でも吟ずることができます。

吟詠家は詩の内容をとらえ、歌によってその心情や情景を再現しようと心の底から吟じあげます。詩の作者の気持ちが読み取れることが吟詠家の力量の高さを表します。吟詠を聴くときには、吟じられる詩の意味や背景を知っているほど楽しめるでしょう。

剣詩舞とは

剣詩舞（けんしぶ）は、剣舞（けんぶ）と、詩舞（しぶ）という2つの舞踊があり、どちらも吟詠（ぎんえい）に合わせて舞う芸道です。古武道の格式と、詩の心を表す芸術性をあわせもつ、2つの舞にそれぞれ特徴があります。

剣舞とは



剣舞は、吟詠に合わせて刀や扇を持って舞う舞踊です。古武道の型を尊重した動きに特徴があり、刀の差し方（帯刀）や斬り方、構え方といった基本動作に剣術や居合術などの刀法、礼法の影響を受けています。

演技者には、武人の心構えや武士道の精神、気迫、格調を備えていることが求められます。題材となる詩の心を理解し、武道の型を芸術的に昇華したところに剣舞の魅力があるといえます。

詩舞とは



吟詠を伴奏に舞う舞踊を詩舞といい、主に扇を持って舞うところが剣舞と異なります。吟詠の詩は漢詩だけでなく、和歌や新体詩なども幅広く用いられます。「詩を聞かせ、そして舞う」といわれ、吟と舞が一体となった演出が見どころです。

演技者は詩の心をつかみ、その詩の世界をある時は具体的に、ある時は抽象的に、緩急自在に表現します。

吟剣詩舞スーパーチーム



吟剣詩舞スーパーチームは、吟詠スーパーチームと剣詩舞スーパーチームにて構成されます。

吟剣詩舞の振興のため、若い人たちを中心として、武道館大会や名流大会、少壮吟士吟詠チャリティ・リサイタルをはじめとする公益財団主催のイベント出

演を通じ、広く社会に吟剣詩舞を紹介し、その魅力をアピールし広報するために結成されました。

全国コンクール決勝大会において優秀な成績を収めた若い人たちに、活躍する場を提供するための取り組みでもあります。

2018年8月よりTwitterとInstagramにて活動状況を発信しています